



エス！エス！エスティージェーズ

# SDGs

岡 / 市長戦略課 SDGs 推進室 (☎ 58-2220 ㊟ 58-2291)

## SDGs の理解を深め、地域と行政が連携し行動する仕組みづくりスタート ～第1回のみSDGs円卓会議を開催～

7月21日、辰口福祉会館交流ホールで「第1回のみSDGs円卓会議」を開催しました。のみSDGs円卓会議は、行政と地域が連携し、SDGsの視点で地域の課題を解決するまちづくりの推進について、様々な立場の人を交えて議論する場です。

第1回は今年度、取り組む3つのテーマについて意見交換を行いました。会議の冒頭で、井出市長は「日本一、SDGsに市民が参加するまちとしたい」と挨拶しました。



円卓会議の様子

### 円卓会議での主な意見

#### ①情報発信・相談窓口

- ・SDGsを身近に感じられる工夫があると良い
- ・自分が「できていること」と「これからしたいこと」を把握できる仕組みがほしい
- ・ホームページだけではなく対面の窓口や、地域に直接出向く出張相談窓口や出張講座なども必要

#### ②パートナーシップ制度

- ・企業と市民がダイレクトに交流できる仕組みづくりをしたい
- ・「学校」というフィールドを借りて、企業と子どもがともに学習したり、プロジェクトをつくるような企画が生まれると良い
- ・能美市版のSDGs認証制度があるとわかりやすいのではないかと

#### ③のみ指標

- ・「共助」のまちづくりに向けて、数字では測れない市民の価値観、心の豊かさを測るものにしたい
- ・市民の声を直接聞いて反映し、独自性があるものにしたい
- ・市民にどのようにしたら、納得感を得てもらえるか検討する必要がある

### ●能美市SDGsの取り組み

能美市は昨年度、SDGs未来都市に選定されました。SDGs未来都市計画の中で、能美市が2030年にありたい姿として掲げたのが「暮らしやすさを日本一、実感できるまち」です。この実現のために次の3点を目指していきます。

<市民力・地域力で自立したまち>

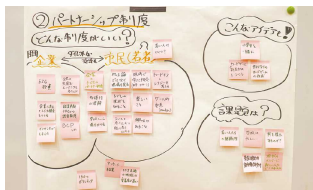
<地域経済が好循環し、地域コミュニティが活発なまち>

<魅力ある「能美ブランド※」を発信するまち>

※能美ブランド…モノだけではなく、モノを生み出す地域の人も含めた魅力や、能美市でしか体験できないコトの魅力などをべて

### ●今年度の取り組みテーマ

- ①「情報発信」「相談窓口」…SDGsを身近に感じてもらえるように、様々な情報が詰まったホームページ、SDGsの取り組み方を相談できる窓口の設置に向けた制度設計
- ②「パートナーシップ制度」…市民団体や企業などがSDGsパートナーとなって様々な地域活動を行えるような制度の構築
- ③「のみ指標」…SDGsの達成を測るものさしとして能美市独自の指標づくり



意見をまとめた模造紙

今後、のみSDGs円卓会議メンバーがテーマごとに分かれ、専門知識のある人などをさらに交え、取り組みテーマの具現化を図る「専門分科会」、SDGsを広く市民へ普及し理解するきっかけとする「市民ワークショップ」を開催していく予定です。



問/能美ふるさとミュージアム (☎58-5250 ☎58-5251)

コラム

能美ふるさとミュージアム館内紹介  
～こどもミュージアムのみつけ～その②

今回は前回に引き続き「こどもミュージアムのみつけ」をご紹介します。「のみつけ」内は「うみゾーン」「まちゾーン」「やまゾーン」に分かれています。

「うみゾーン」には、根上海岸の砂浜で子育てをするコアジサンなどの海鳥の巣をイメージした赤ちゃん用の「海鳥の巣ベッド」など、小さなお子さまが楽しめる遊具を多く配置しており、ハマナスや松林をイメージしたパーテーションで他のゾーンと区切ること



こどもミュージアムのみつけ

で、低年齢のお子さま連れのご家族も安心してご利用いただけるよう配慮しています。

「まちゾーン」には、国指定史跡能美古墳群をイメージした古墳クッションを配置。能美古墳群で見られる古墳は、形も大きさも様々。古墳クッションの上を飛び跳ねながら、様々な種類の古墳が市内にあることを学べます。

「やまゾーン」には「七ツ滝滑り台」や「モリアオガエルの卵塊ブランコ」など体を動かして遊ぶ遊具がたくさん。滑り台の着地点は七ツ滝で見られる魚が描かれていたり、ブランコ周辺には卵やカエルを狙う天敵たちが配置されていたりと、遊びながら自然を学べます。

「のみつけ」の壁面には、それぞれのゾーンを表現する動植物や風景が手描きイラストで描かれています。また、壁面のパネルや、吹き出しの内容は随時更新。子どもたちの様々な気づきのアシストをします。

このほか、可愛いモビールや民話パズルなど、楽しい仕掛けがたくさん!ぜひ「こどもミュージアムのみつけ」にお越しください。

お知らせ

展示 秋季企画展  
無料 「能美の石碑ものがたり」

▶会期 9月7日(火)～11月7日(日)

石碑とは、石に文字(銘文)を刻んで建立されたものです。人物の功績や地域の歴史を残すためなど、建立の目的は様々です。

能美郷土史の会は平成30年からの4年間で、能美市内300か所以上の石碑を調査しました。

能美の歴史を今に伝えてくれる石碑を写真で紹介します。また、今回の調査で確認された全石碑を収録した図録も販売します。



二口城跡(西二口町)



水害記念碑(山田町)



和田山慰霊碑(和田町)

NEWS

のみふる来館者  
3万人突破しました

8月12日、能美ふるさとミュージアムの来館者数3万人を達成しました。記念すべき3万人目の来館者は、市内にお住いの渡邊奈々子さん、彩乃さん、奏さんご家族です。

渡邊さんは何度も「こどもミュージアムのみつけ」を利用しており、今回は彩乃さんの希望でテーマ展示室を観覧されました。「七ツ滝の展示が面白かった。現地でもケキレイが見てみたい。のみふるにもまた来ます!」と彩乃さん。ささやかながら、のみふるグッズをプレゼントしました。



渡邊さんご家族

防災サプリー

不足しがちな「防災」を捕います

問/危機管理課 (☎58-2201 ☎58-2290)

台風への備え 停電にも備えましょう

これから台風が発生しやすい季節になります。台風といえば集中豪雨や強風による被害をイメージしますが、忘れてはならないのが停電。生活に必要不可欠な電気が失われたときも想定しておきましょう。

乾電池や蓄電池で電気の備蓄を!

緊急時のため乾電池を備えておきましょう。乾電池はさまざまなものに使えますので、使用する製品の規格に合わせて50本程度を備蓄しておくことで安心です。最近は充電式の電化製品が増えてきていますので、ポータブル蓄電池も有効です。



直接プラグやUSB端子を挿すことができ便利です。価格は数万円～と高額ですが、備えておくとも非常に便利です。

明かりと情報源を確保しましょう

停電からの復旧には数日かかることがあります。その間の環境の変化に備えるため、まずは明かりと情報源を確保しましょう。

懐中電灯を備える、足元灯で移動経路を照らすなど、安全に移動するために明かりを確保しましょう。



また、刻一刻と変化する状況の情報を集めるためのラジオ等も必要です。電池で動くものや手回し式で使えるものを備えましょう。



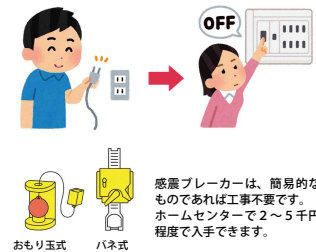
手回し式であれば電源不要!

復旧でひと安心...? 通電時にも火災などに注意!

停電から数日後、電気が復旧してひと安心...かと思いきや、この時も注意が必要です。

電気が復旧した時、スイッチが付いたままになっていたヒーターなどが発熱し、近くの布や紙類から出火する可能性があります。停電時には電化製品のスイッチを切るとともにコンセントから電源プラグを抜き、ブレーカーを落としましょう。

地震による停電の場合は、感震ブレーカーも有効ですので、備えておきましょう。



おもり玉式

ハネ式

感震ブレーカーは、簡易的なものであれば工事不要です。ホームセンターで2～5千円程度で入手できます。

能美市防災ガイドブック

能美市にお住まいの方に配布している防災ガイドブックには、防災に役立つ情報が満載です。※防災ガイドブックは市ホームページでもご覧いただけます。(右記QRコードからアクセスできます)





# いしかわ動物園にズームイン!

Zoo

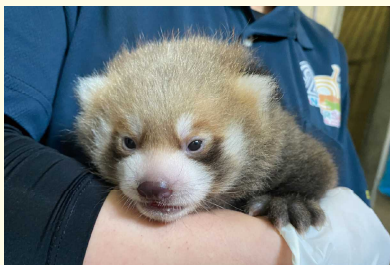
文：いしかわ動物園

## ■いしかわ動物園の公式ツイッター

皆さんは、当園の公式ツイッターをご覧になったことがあるでしょうか。おもに飼育係が、担当動物の愉快な仕草や何気ない動きを動画や画像で紹介しており、観覧通路からでは見ることのできない、現場ならではの瞬間を提供しています。今回は直近のツイートの中から、「いいね」の数が多かった3点を紹介します（8月1日時点の数）。

第3位は「モルモットの行進」を紹介した動画で、「938 いいね」をいただきました。逆走して隊列を乱す個体が笑いを誘います。第2位は開園時から当園を支えてくれた「トラのマドラス死亡」を伝える画像で、「1089 いいね」の反響がありました。在りし日の優しいマドラスを写した画像に届けられた数多くのコメントに、ただただ感謝です。そして第1位は「レッサーパンダ赤ちゃんの体重測定」を紹介した動画。「1929 いいね」という、当園のツイッターとして過去最高レベルの高評価をいただきました。ようやくレッサーパンダらしい姿に成長した様子に、私たち職員も萌えています。

残暑で家から出たくない方も、忙しくて動物園にお越しいただけない方も、そしてコロナ禍で外出を自粛されている方も、当園の公式ツイッターで、手軽にいしかわ動物園をお楽しみください。



体重測定前の赤ちゃん  
(ツイッター動画とは異なる写真です)

# みんなの図書館



※開館時間、休館日については、市ホームページ、各図書館だよりをご覧ください。

## おすすめの一般書



我が産声を聞きに  
白石一文 [著]  
講談社

名香子はある日、肺がんの診断を受けた夫から、好きな人ができたのでその人と治療すると告げられる。呆然とする名香子だったが、事態は思いもかけぬ方向へ進んでいき…。コロナ禍の家族を描く。

## おすすめの児童書



シロクマが嵐をこえてきた!  
マリア・ファラー [作]  
あかね書房

大好きなおばあちゃんの物忘れがひどくなり、マヤは心配と不安でいっぱい。ある嵐の翌朝、おばあちゃんとマヤが海岸で見つけたのはシロクマだった! シロクマのスーツケースのタグには「ミスターP」と名前が書いてあり…。

## おすすめの絵本



カラフルなひとりごと  
種村有希子 [作]  
ほるぶ出版

夏の落ち葉をふんで、それがやわらかいことを知った子。ぐらぐらしていた歯がついに抜けた子…。まわりから見たらほんのささやかなできごとだけれど、その子にとっては特別な瞬間を描いた、子ども心に寄り添う絵本。



情報発信元 能美市九谷焼美術館 | 五彩館 |

【入館料】一般 430円・75歳以上 320円・高校生以下無料  
※浅蔵五十吉記念館もあわせて入館いただけます。

【問い合わせ】☎ 58-6100 ☎ 58-6086

ご来館の際は、基本的感染対策（マスク着用・検温・手洗い等）にご協力をお願いします。

## 今月のイッピン! 「民山窯 赤絵小紋電図大徳利」

江戸後期の文政5年（1822）、加賀藩士武田秀平（号、民山・夕月等）が、春日山窯跡に民山窯を開窯しました。窯では、素地師の山上屋松次郎（本多貞吉の高弟）、絵付師の任田屋徳右衛門とその子徳次や、鍋屋吉兵衛ら名工があり、絵付は自邸に錦雲を設けて、磁器による色絵の優美精良な鉢、皿、徳利などを製作しました。中国風文様などが独特のデザインで表現され、作品には『民山』の銘が記されています。弘化元年（1844）、秀平は没し、民山窯はその業を閉じます。色絵作品の中でも金彩を加えた赤絵細描の技法は、赤絵九谷の先駆となり、山代の宮本屋窯（1832 - 59）の八郎手にも受け継がれています。本作は手取りが軽い瓢形の酒瓶でおそらくは山上屋の成形で、ち密な文様中心の赤絵は任田屋の手ではないかと思われませう。赤絵九谷の系譜を知る上でのイッピン! です。（文・五彩館 館長 中矢）



赤絵小紋電図大徳利  
サイズ 胴径 14.7 / 高 29.5cm  
作者 民山窯  
年代 1822(文政5)~1844(弘化元)年  
所蔵先 能美市九谷焼美術館 | 五彩館 |

INFO

- 「能美市美術作家協会 書道部展」～9月26日(日)
- 「能美市美術作家協会 絵画部展」9月29日(水)～10月24日(日)  
※会場は五彩館ロビーギャラリー（入館無料）です
- 「九谷焼伝統工芸士会作品展」(五彩館)～11月28日(日)
- 展示替えのため休館します9月28日(火)「浅蔵五十吉記念館」

- 「刻む展」(五彩館)  
伊藤慶二 井上雅子・中田雅巳・齋藤まゆ  
9月14日(火)～11月7日(日)  
アーティストトーク(列品解説)  
※10月23日(土)10時～  
作家4名が作品作りに対する想いを語ります。

# 今月の手話

手話表現：移住アンバサダー 山口康さん(古民家民宿経営) ※現在休業中  
移住アンバサダーとは、市の魅力発信、移住希望者への情報提供やサポートなどを行っていただく人です。

## コロナ



①-1、①-2 左手で「C」を表現し、「P」の形にした右手を当てて少し回す。



## 予防・防ぐ



①-1、①-2 立てた左手に右手の指先をつけ、前へ押し出す。



## 安心



①-1、①-2 両手てのひらを胸に向け、なでおろす。



動画で「コロナ予防をして、安全安心」「防災」の手話表現をご覧くださいませ。  
ぜひ、アクセスしてみてください♪



動画配信中  
手話ページQRコード▶



問 / 福祉課 (☎ 58 - 2230 ☎ 58 - 2294)

# わたしとこの町

## File50 火釜町



同じ振り付けでも、ちょっとした仕草などで個性が出るそうです。写真は、民謡まつりのステージで群踊を披露する林さんと武田さん。

**林さん** 私たちは、辰口民謡会で民謡をしています。和服を着て、民謡や歌謡曲に合わせて踊ります。昭和50年に発足してからずっと続けているので、私も武田さんも、民謡歴は約45年になります。  
**武田さん** 活動は、毎年10月に辰口民謡会が開催する「民謡まつり」に向けての練習をメインで行います。あとはいきいきサロンなどに呼ばれて披露したり、林さんは岩内CC館で小学生の子どもたちにも民謡指導を行ったりしています。

**林さん** 今までは、一番印象に残っているのは、金沢の大きな会場で、演技中に停電になった時のことです。暗がりの中、三味線の方々が弾き続けるので、私たちもそのまま踊りました。窓から入る僅かな光しかありませんでしたが、観客も楽しんでいましたね。  
**武田さん** 練習では、覚えることがたくさんあります。続けて何曲も踊るので、振り付け、立ち位置、衣装替え、小物の準備など、何でも確認します。複数人で踊る群踊の場合は、本番でミスすると特に目立つので、気を付けています。  
**林さん** でもミスがあったステージの後には「そんなこともあるわい



火釜町では、辰口民謡会の民謡が発足する前から、歌や三味線の活動が活発だったそうです。写真は、民謡の初ステージ。火釜八幡神社の落慶記念でした。

ねとみんな優しいです。辰口の民謡が、こうして45年も続いてこられたのは、チームのみんなの仲が本当に良く、新人も学びやすい環境というのが大きいと思います。昨年からは、新型コロナウイルス感染症の影響で活動を休止しています。44年間欠かすことのなかった発表会の第45回が中止になったことは非常に残念です。今年の発表会もすでに中止が決定しています。一日も早く、練習ができるような状況に戻り、また来年の発表会で皆さまに良い演技を披露できることを切に願っています。



辰口民謡会で民謡をしている

はやしせいこ  
**林 精子さん**(左)

たけだゆりこ  
**武田 百合子さん**(右)

## File49 寺井町



てらかつの様子。様々な活動に携わる庄川さんは、この町の九谷焼の物語や、地域の人とのつながりを大事にするための活動を行っています。

寺井町は、町内を5つのエリア（横町、山道、中町、北町、九谷町）に分け、それぞれの地域の特性を踏まえながら、暮らしやすい町にするため、切磋琢磨しています。私は横町の住人です。  
横町は、旧北国街道の宿場町として栄えました。江戸時代末期に、九谷庄三がやきものをつくる窯元へ奉公に出され、各地を転々とし、色んな技法を学び、再びこの地へ戻ってきて工房を開きました。ここで生産された九谷焼を、商人たちが万国博を通じて、世界へ発信しました。  
私の住んでいる家は、そんな賢

易九谷商人のラストランナーが遺した築百年の町家です。時の流れとともに消え去ろうとしている物語を、この家を使ってアナウンスできないだろうかと考え、定年になった65歳からささやかなまちづくりの試みをしてきました。  
私はこの家で生まれ、当時店があった横濱へ6歳のときに移り、42歳で戻ってきました。ここもどんどん都市化が進み、地域のつながりが形骸化しているのを強く感じました。まずは向こう三軒両隣の復活からだ、と、月一回、我が家をコミュニティプレイスとして「住み開き」し、テーマのないおしゃべり会を開いています。また年二回、九谷焼技術研修所の現役生や卒業



三十一丁から散歩ルート。このマップで使用されているイラストは、小学生や高校生、80歳のお年寄りまで、寺井の皆さんが31カ所の辻を描いたものです。



てらかつのメンバーとして活動する

しょうかわりょうへい  
**庄川 良平さん**

生の作品展示会を催しています。  
能美東西連絡道路の整備に伴って結成された寺井町活性化協議会「てらかつ」のメンバーとして、長らく空き家になっていた旧料亭の活用や、まち歩きマップの製作、案内標識の設置に携わりました。  
今は、能美東西連絡道路の両側に並んだ車止めボラードの頭頂部に、小学校の卒業生の九谷焼陶板を飾ること、市の国際交流協会さんとコラボし、町を案内する「てらい散歩」をYouTubeで配信しています。  
これからも地道にコツコツこの町の物語を掘り起こす活動をしていきたいと思っています。